

ほすぴたる

冬号第6号

2005.2

「やさしさと思いやりにつつまれた病院」



公立豊岡病院組合
管理者
中貝 宗治

当病院組合の基幹病院である豊岡病院は、昨年は台風災害で大変な打撃を被りましたが、地域の皆様の医療と健康を支えていくために、被災から力強く立ち直り、いよいよこの春、新しい豊岡病院が新天地（豊岡市戸牧）において開院いたします。

新しい豊岡病院の中央待合ホールから外来診察室へ続くホスピタルストリートには、“生命の樹”というアートを配置する予定です。これは、但馬各地の中学生や病院の職員が夢と希望を描いた小さな木片を散りばめ、一つの樹にしたものです。一つひとつは小さな木片にすぎませんが、それらが集まることで何倍にも輝く夢と希望につながってきます。

病院においても、一人ひとりのスタッフが夢と希望を持って医療に携わり、それら一つひとつが単なる“木片”で終わってしまうことがないように、但馬地域の大きな夢と希望につなげていかねばなりません。

新天地での開院では、被災からの希望を持った踏ん張りをバネにして、器（建物）だけでなく、その中に盛り込まれる心と技も充実させて、人とのコミュニケーションを大切にしたい、「やさしさと思いやりにつつまれた病院」にしていきたいと考えています。



新豊岡病院正面玄関側写真

このような医療にける思いと心がまえに立って、本年も豊岡病院を中心に、5病院間の連携や地域医療機関等とのネットワークを強化して地域医療を担う体制づくりに努め、自治体病院として責任ある運営を推し進めていく決意です。

今年は酉年、皆様にとって飛躍する良い年でありますことを祈念して年頭の挨拶といたします。

今号の主な内容

- ・公立豊岡病院組合会議議長挨拶 (P2)
- ・日高病院療養病棟オープン!! (P2)
- ・コラム (P4)
- ・臨床検査科の仕事 (P5)
- ・医局だより (P6)
- ・新任医師紹介 (P7)
- ・新豊岡病院整備事業 (P8)



年頭のごあいさつ

公立豊岡病院組合議会 議長 吉岡 正章

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当地方は昨年かつてない台風災害にみまわれ、「安全・安心が一番」と言う実感とともに多くの教訓を得られたことと思います。公立豊岡病院組合は、構成自治体が地域医療を共同で行うために設置した機関であり、皆様の健康を守り良質で安全・安心な医療を提供する使命をもっています。

今年は構成市町の合併により4月に新豊岡市と朝来市が誕生し、5月に新豊岡病院が開院する等で病院組合の状況も大きく変化します。また、医療経営を取りまく環境も非常に厳しくなっており、組合議会としても時代を見据えた情勢分析をしながら、与えられた権能を充分発揮する必要があります。議会も病院組合執行部と互いに知恵を出し合い、地域住民の皆様のニーズに合った医療が提供できるよう組合立病院の充実と経営健全化に努めてまいります。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。



特集

日高病院 “療養病棟” オープンしました!! 「療養病棟開設にあたって」

公立日高病院 病院長 安本 詔夫

医療の高度化・専門分化が進む一方、少子・高齢社会の進展による医療費の高騰が社会問題となっている中で、全ての国民が効率の良い充実した医療福祉サービスを受けるためには、地域における医療機関の機能（役割）分担と連携が重要となっています。北但馬地域においても、高度専門医療・急性期医療に特化する豊岡病院に対して、日高病院は今後、亜急性期～慢性期の医療を受け持つことが重要であると考えます。また、急性期病院では多くの方が等しく高度な医療を適切に受けるために、入院期間の短縮が進められることになります。その中で病気の治療が一段落しても、引き続き療養していただく施設が必要であり、特に高齢化率の高い但馬地域では、このような施設の重要性がますます大きくなってまいります。

このような状況下で、日高病院は一般病床を再編成して、機能回復等のために入院継続が必要な方や家庭・施設での生活に戻るまでの療養が望まれる方の治療の場として療養病床をスタートしました。今後、更なる少子高齢化に伴い家庭介護力の低下が危惧される中、在宅への支援にも役割が求められるよう医療提供体制を整えてまいりたいと考えています。



療養病棟記録室の様子

療養病棟のご案内

日高病院では、平成17年1月1日に療養病床40床を開設しました。この病床では、慢性疾患等の症状は安定してきているが、継続して療養の必要な下記の患者さまを対象としております。日常生活に必要なリハビリテーション等を中心に療養をしていただき、1日でも早い健康の回復と在宅療養・社会復帰を目指しています。

対象者（症状が安定した方で長期療養の必要な方）

1. 脳血管障害後のリハビリテーションが中心の方
2. 骨折後、骨関節疾患でリハビリテーションが中心の方
3. 高血圧、慢性心不全の方
4. 慢性呼吸疾患で挿管のない方
5. 糖尿病等の代謝疾患の方
6. 癌末期で痛み等に対する対症療法が主な方
7. 慢性腎不全、血液透析中の方
8. その他判定会で認めた方



療養病棟 4人部屋

※ただし、原則として、IVH（中心静脈栄養）、気管切開、中程度以上の精神障害（認知症も含む）については受け入れができません。

入院手続き

入院希望の方は、日高病院「いきいきライフ支援室」までお越しいただき入院申請手続きをして下さい。入院の可否につきましては、紹介状、情報提供書に基づき入院判定会（毎月第1第3水曜日開催）で審査し、その結果を2週間以内にご連絡いたします。

なお、入院時は1週間程度の一般病棟での経過観察（治療・検査等による）の後に療養病棟へ転棟していただくこととしております。

お問い合わせ先：公立日高病院「いきいきライフ支援室」

TEL 0796-42-1611 FAX 0796-42-2228

平成17年度公立豊岡病院組合医師修学資金貸与医学生募集のお知らせ

前号でお知らせしました平成16年度の募集には、選考の結果7名が医師修学資金貸与医学生として認定されました。今回、平成17年度貸与医学生を下記のとおり募集しますので、将来故郷但馬の医療向上に貢献しようとする学生の皆さんの応募をお待ちしております。詳しくは募集要項又は、病院組合ホームページをご覧ください。

1. 対象者：但馬地域の高等学校を卒業し、平成17年4月に新たに大学医学部に進学される方で、大学卒業後、公立豊岡病院で2年間の臨床研修を修了し、医師として組合立病院で勤務する意思のある方。
2. 募集人員：3名程度
3. 選考会日時：平成17年3月25日（金）午後2時を予定しております。

※お問い合わせ先 公立豊岡病院組合総務部人事課 電話 0796-22-6111 内線250



公立梁瀬病院 外科医長

岡本 秀樹 (県立豊岡高校卒、自治医科大学兵庫県16期)

「人間が生きものの生き死にを自由にしようなんて おこがましいとは思わんかね」

手術をしたものの亡くなってしまった本間博士がブラックジャックを論ずる言葉である。外科医は常に生死と関わり、なんとか生命を永らえようと必死に努力し、全精力を傾けるために、時には生命を手中にしていると錯覚しそうな驕れる心を持ってしまう場面もある。しかし、そんなヒューマニズムに憧れる者のみが厳しい修練に耐え、外科医となる。外科医となったからには、技術を常にブラッシュアップすることはもちろん、治療時点における医療水準に則って治療を行う努力が必要である。学会あるいは大学作成の診療ガイドラインやマニュアルを頭に叩き込んだ上に、地域医療の現場では患者や家族背景にも考慮して治療を行う柔軟な姿勢が必要である。

「小病院の外科医は外科系総合医」

「そうごうい？」…聞きなれない言葉であるが、地域医療を専門とする医師を養成するために設立された私の母校、自治医科大学では、どんな患者でも対応し、さらに行政との連携により地域全体の医療を見据える医師を総合医と位置付けている。当院の外科医は、手術や麻酔、外傷はもちろん、整形外科疾患、内視鏡処置、さらには役場保健課などと連携し住民検診を行っており、病院外にも活動の場を広げて健康教室などの健康増進活動も行う。病気の早期発見、治療を行うのは勿論のこと、地域に溶け込み、予防活動にも力を入れ、人間として持てる能力を地域のために役立てるのが外科系総合医なのである。

「外科は病院の用心棒」

中小病院における外科医はすでに病名の決まった予定手術だけをやっているわけではなく、多発外傷救急や不幸にして検査の合併症が生じた患者の治療も担当する。そのため、ACLS（心臓救急マニュアル）、ATLS（外傷救急マニュアル）などの救急にも精通していなければならない。さらに、検査の合併症に対応できなければ、病院内の他科の検査が制限されることになり、病院機能が低下する。

「治療を従とし、予防を主とす」

岐阜県のへき地病院の待合室に掲げられているスローガンである。

病院機能評価に合格しました！！

昨年11月に豊岡病院、梁瀬病院が、(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価認定を受けました。日本医療機能評価機構は、厚生労働省や日本医師会などの出資で設立された財団法人で、医療機関を第三者の視点で評価する認定事業を実施しています。これは希望する医療機関を対象に、病院の診療体制や運営状況などを評価し、機構が設ける一定水準に達していれば認定されるものです。平成16年12月現在で、約1,480病院が認定され、当組合では他に出石病院が認定を受けています。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

臨床検査科の仕事

公立豊岡病院臨床検査科

臨床検査は大きく①検体検査と②生理検査に分けられます。検体検査は、排泄される尿・便など、また体を流れている血液・骨髄や体を作っている細胞臓器などの検査です。生理検査は直接体に接して調べたり、臓器を物理的に捉える検査です。

① 検体検査

★ 生化学検査

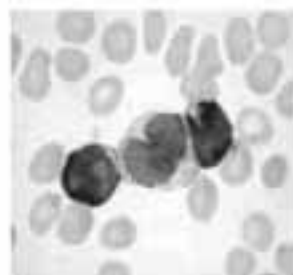
血液や尿中に含まれている化学成分を自動分析器で測定します。血液、尿は病気の有無や進行の程度によって成分や量が変わるものが多く、これらを知ることで病気の診断をサポートします。肝機能・腎機能・すい臓機能などを調べることができます。また、腫瘍や薬物・ホルモンの検査も含まれます。



生化学分析装置

★ 血液検査

いわゆる貧血の検査です。血液中の赤血球数・白血球数・血色素（ヘモグロビン）濃度を測定します。また血液の固まる割合を測る検査（凝固検査）や白血球や赤血球を染色して観察する細胞形態学検査を行います。



白血病細胞

★ 細菌検査

食中毒の原因菌（赤痢・サルモネラ・O157）の有無などを明らかにしたり抗生物質の適用を検査します。



病理検査

★ 病理検査

生体の分泌液や組織を薄切りして染色を行いがん細胞を見つける検査です。臨床病理科の医師と病理解剖を行い死亡の病因検索を行います。

★ 血清検査

肝炎・インフルエンザ・エイズなどのウイルス感染の有無を調べます。また血液型検査や輸血検査も行います。

★ 一般検査

尿中に蛋白やブドウ糖・血液が排出されているか調べます。健康な人には蛋白、糖の排泄は殆ど見られません。尿から腎臓、膀胱、肝臓まで検査できます。また便の潜血反応は大腸がんの早期発見に役立っています。



心エコー検査

② 生理検査

患者さまに接する検査です。心電図、肺機能、脳波、筋電図、心エコーなどの検査があります。

検査は病気を正しく診断し、適切な治療を行うためのバロメータとなります。ご不明な点は、お気軽に各病院へお尋ねください。

意外と知らない形成外科のはなし

医局だより



公立豊岡病院 形成外科

形成外科という分野は比較的新しく、日本での形成外科学会の歴史は50年にも足りません。今でこそ諸所の病院に形成外科があるのは珍しくなくなりつつありますが、住民の方々にとって、形成外科が何を診ている所なのかまだまだ戸惑われることが多いのも事実です。ここでは豊岡病院形成外科が実際に治療を行っている疾患をご紹介します。

- 1) 外表先天異常 まぶたのたるみや耳の形成不全、^{こうしんこうがい}口唇口蓋裂などの顔面先天異常、指が多い、くっついていて、曲がっている、爪の変形などの手足の異常など。胸や臍、外性器などの表面からわかる様々な疾患。
- 2) 皮膚皮下腫瘍 良性、悪性ともに総合的に治療。
- 3) あざ レーザー治療や焼いたり凍らせたりする治療や切除など。
- 4) やけど 軽いものから重症のものまであらゆるやけどを治療。
- 5) けが あらゆる外傷を扱い、特に顔の骨の骨折、手の外傷など。
- 6) 傷跡 目立つ傷跡、ひきつれ、けがや手術で失った部分(乳房など)の再建。
- 7) 皮膚の潰瘍、床ずれ、手足の壊疽 症状、成因に応じて治療。
- 8) 顔面神経麻痺 薬の治療で治らないものを対象に手術で治療。
- 9) その他 わきがなど薬や手術(保険適用)で治療。

形成外科は外観を治すものと考えられがちですが、あくまでも機能を重視するのは他の外科系と同じです。機能と外観両者を改善して生活の質を向上させるのが目的です。豊岡病院形成外科では年間の手術件数は約800例ありますが、何でも手術するわけではなく、薬やその他の治療が有効であれば保存的な方法を優先させることもあります。

また、患者さまの社会的な事情を考慮して、手術の時期や日帰りの手術など、なるべく負担にならないよう治療計画を立てることを基本的なコンセプトとしています。お悩みのことがあればどのような治療方法があるのかご相談いただだけでも有意義であると思います。



C型肝炎ウィルス検査のおすすめ

公立豊岡病院組合では、昨年6月にフィブリノゲン製剤(C型肝炎感染の危険性がある)の購入実績を公開し、C型肝炎ウィルス検査のおすすめをしました。今回は昨年12月に、厚生労働省よりフィブリノゲン製剤の納入先医療機関名等の公表があったのを受けて、再度、住民の皆様方

1. 1992年(平成4年)以前に輸血を受けたことがある方
2. 感染危険性のある血液凝固因子製剤(フィブリノゲン等)の投与を受けられた可能性のある方(手術などの外科的処置、妊娠・分娩時の多量出血)
3. 薬物濫用者や入れ墨・ボディピアスを施している方
4. 過去に健康診断等で肝機能検査の異常を指摘されている方等

にC型肝炎ウィルス検査を受けられることをおすすめするものです。当組合内の病院では、豊岡病院、日高病院、出石病院で購入実績がありますので、上記項目に該当される方は、ぜひお問い合わせのうえ、検査を受けられることをおすすめいたします。なお、詳細につきましては、ほすびたる臨時号(2004年7月発行)又は、ホームページをご覧ください。(お問合わせ先：豊岡病院0796-24-6111、日高病院0796-42-1611、出石病院0796-52-2555、梁瀬病院079-676-3157、和田山病院079-674-2021)

病院からの お知らせ



就任のごあいさつ

公立和田山病院 病院長 野 垣 秀 和

病院は専門職の集団ですから、個人個人がその実力を高める努力をする
と同時に、就任にあたり職員には次の3点についての意識を強く持つよう
指導しております。

- ① 他の組合立4病院、とりわけ豊岡病院との医療連携を名実共に強化しましょう。
- ② 地域社会に積極的に参加して、和田山病院をもっと身近な存在として住民の方々に思っ
てもらえるようにしましょう。
- ③ 自らが誇れる職場・病院づくりを目指しましょう。

平成17年4月、朝来市が誕生するにあたり、和田山病院も新しく生まれ変わって地域に貢
献できるよう全職員で頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

新任医師紹介

平成16年10月2日から平成17年1月1日までに、新たに職員に
なりました！！
よろしく願います。



豊岡病院胸部外科
部長 かなもり 由朗
金森 由朗



豊岡病院脳神経外科
医長 あいはら ひであ
相原 英夫



豊岡病院脳神経外科
医長 もりした 暁二
森下 暁二



豊岡病院歯科口腔外科
医員 こうの たかし
高野 貴司



和田山病院整形外科
医長 いたう けんじろう
伊藤 研二郎

退職医師紹介 お世話になりました！

11月30日 日高病院 外 科 山本 将士 12月31日 和田山病院 整形外科 木下 恵祐
12月31日 豊岡病院 脳神経外科 花田 友成

ありがとう豊岡病院、お疲れ様 バイオリンコンサート開催！！

★バイオリンコンサート★

平成17年3月12日(土) 午後1時30分より 場所：豊岡病院 円形外来1階

*バイオリニスト：松野 迅さん *ピアノ伴奏：榊原 契保さん

★豊岡病院の歴史資料等展示★

平成17年3月12日(土)～22日(火)まで 場所：豊岡病院 円形外来1階付近
開院から現在までの懐かしい写真、新豊岡病院の写真も展示します。

＜現在の病院では最後のイベントです。ぜひご来院ください！！＞

新豊岡病院移転新築整備事業について

新豊岡病院建設工事完成間近！！

いよいよ、新豊岡病院開院までカウントダウンに入りました。これまで、お伝えしてきました工事の進捗状況ですが今回で最終回です。今回は、病室の様子をお伝えします。



4人室（一般病棟）

CONCEPT

個室的感觉を味わえるような工夫をこらします。

☆光と風を取り入れるために廊下側のベッドにも窓を設置

★付き添い者、見舞い着用の造り付けのベンチを設置

☆病室毎にトイレと洗面化粧台を設置（一部病室除く）

★ベッド毎にエアコン風量調節が可能

☆床頭台（冷蔵庫付）に液晶テレビを設置（角度調節可）



4人部屋の様子（南→北）

個室

CONCEPT 時代のニーズに合うよう、プライバシーと快適性を重視した造りとします。

☆快適空間の確保と、トイレ、洗面台の設置

★特別室は、浴室・トイレ・ミニキッチンを設置

新豊岡病院の施設見学会のお知らせ

【日時】平成17年3月13日（日）

午後1時～午後5時

住民の皆様には新しい豊岡病院の内部を見ていただく施設見学会を実施します。この機会にぜひご覧ください。

【車の場合】

●直接来場していただき病院駐車場をご利用ください。

【送迎バス】

●JR豊岡駅から見学会用の無料シャトルバスを運行しますのでご利用ください。（駅発12:30～16:00）



編集後記

昨年11月から、病院組合のホームページをリニューアルしました！！“ほすびたる”のバックナンバーや診療担当表、新豊岡病院の工事の状況など、多くの情報を発信していますので是非一度ご覧ください。

《編集委員 Y》

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 ◇TEL 0796-22-6111(内線413)

◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp